

森づくり通信

No.35



2015年(平成27年) 3月25日(水)発行

発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



椿

今年は金沢の雪も大した事はありませんでしたが、東北や北海道では猛吹雪に襲われ、大変な様子がニュースでも報道されていました。海水温度が上昇した影響だとのコメントもありました。

地球という大きな環境を考えると、どうすればよいのか難しいですが森づくりは様々な面で環境に好影響を与えられています。

また、5月17日(日)には小松市木場湯公園で全国植樹祭が開催され、さらに森づくりへの関心が高まる事を願っています。

平成27年 森づくりイベント予定

日程	イベント内容 (予定)	場所
3月 29日(日)	「きのこの植菌体験」 シイタケとナメコの植菌、お持ち帰りあり	東原町
4月 25日(土)	「金沢テクノの森づくり2015 春」 森林整備活動とタケノコ掘り体験	金沢テクノパーク緑地帯
4月 29日(祝・水)	「竹やぶマスターズ」① 竹林整備、森林整備活動、タケノコのごちそう	金沢テクノパーク緑地帯
5月 17日(日)	第66回「全国植樹祭いしかわ2015」 天皇皇后両陛下をお迎えしての国土緑化運動	小松市木場湯公園
5月 24日(日)	ササユリの里づくり ササユリ群生地周辺の整備	医王の里
6月 20日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備と里山のめぐみをいただく	金沢市東原町

「大変お世話になりました」

この3月末日をもって、金沢市林業振興協議会を退任することになりました。

会員各位には、各種事業やイベント等事業運営にご協力を賜り自然の中で楽しい活動をさせていただき厚くお礼申し上げます。

森林の果たしている多様な機能は、計り知れない様々な森の恩恵を私たちは受けています。しかし、木材価格の低迷などで近年は林業経営の悪化や過疎化により「植えて、育てて、収穫して、上手に使う、また植える」という森づくりの循環が途絶えてしまったため、森が元気を失い本来の機能を発揮できなくなっています。

こうしたことで、森林を守り育てることの理解と大切さを一層深めるため、皆さんにはいろんな活動に参加していただきました。深く感謝すると共に林業に明るい兆しが灯るよう強く念じています。

会員の皆様が益々ご健勝でご活躍されることを心より、ご祈念申し上げます。

長い間いろいろとお世話になり、有り難うございました。

金沢市林業振興協議会 事務局長 浦上 作二

森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての授業を行う。または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

11/27 (木) 不動寺小出前講座



3年生が1年をかけて、森と生活の関わりを学ぶ一環で、今回は間伐したスギ材を使って、鉛筆立てを作りました。



また、グランド横の里山のシイタケ栽培所でホダ木の天地返しと、2年生の為に原木を運搬しました。

12/13 (土) 竹やぶバスターズ②



1年に2回竹やぶの整備を進めてきましたが、春は竹やぶの整備とタケノコ掘りも楽しみ春の味覚を頂きました。



冬は金沢森林組合の2階をお借りして、親子25名が竹やぶの孟宗竹も使い、めでたい「ミニ門松」を作りました。

1/22 (木) 小立野小学校出前講座



総合的な学習の時間内の環境問題を考える所で、森林の様々な働きを学びたいとの要請を受け、5年生80人を対象に、森林と環境の様々な関係を説明し、「緑のダム」と呼ばれる森林の働きを知ってもらう簡単な実験を行いました



1/26 (月) 不動寺小シイタケの収穫と調理体験



1年間を通して森と自分たちの関わりを学ぶ事の一環として、学校グランド横の里山でシイタケを栽培しました。



最終の今回は収穫を行い、採ったシイタケは料理研究家のしもおきひろこさんの指導で、料理を作りおいしく頂きました。

2/25 (水) 東浅川小学校出前講座



昨年森づくり出前講座を行った6年生が、木を使って卒業記念作品を作りたいとの要望があり、ゴミ箱ケース作りに取り組みました。



出来上がった作品は立派で、ゴミ箱ケース以外につかいたいなーとの声も上がりました。

3/20 (金) 不動寺小出前講座



2年生25名が1年をかけてキノコ栽培を通し、森の働きと自分たちの関わりを学ぶ第1弾として、学校横の里山でキノコの植菌を行いました。



植菌前に教室ではキノコと里山について簡単な話を行いました。

金沢市 海岸松林 再生事業

金沢の海岸松林は防砂や防潮、防風のため先人が植栽、保育してようやく大きく成長し、人家や作物を守ってくれるようになりました。

ところが昭和の末頃から石川県でも、マツが大量に枯れる現象が目立ち始め、里山をはじめ貴重な海岸松林にまで被害が拡大してきました。

減少した海岸の松林を地域住民やボランティアの力で再生し、美しい松林を後代に引き継ぐために、金沢市が計画を策定し抵抗性クロマツを、粟崎から打木に至る金沢海岸に植栽しています。

※抵抗性クロマツとは松枯れの原因となるマツノザイセンチュウが、松の樹体内に侵入しても枯れにくい、抵抗力のあるクロマツです。



3/7 (土) 粟崎やすらぎの林

コマツ金沢工場社員114名が参加し、抵抗性クロマツ150本の植栽と、以前の植栽地の整備を行いました。

以前に植栽した所は、人の背丈以上に成長し、スクスクと育っています。



3/8 (日) 打木地区

打木生産組合の方々に集まって頂き、慣れている方も多かったが、植栽の基本を確認してもらう為にデモンストレーションを行ってから、抵抗性クロマツの植栽作業を行いました。



3/8 (日) 下安原地区

松くい虫の被害にあい、伐採した跡地に抵抗性クロマツの植栽を行いました。

基本的な植栽の実演と説明を行い、折角の抵抗性クロマツの苗と労力が生かされるように丁寧に植えました



3/11 (水) 専光寺地区

当日の北陸は雪が舞う強風の中、専光寺のマレットゴルフ場内に、金沢市マレットゴルフ協会会員の皆さん83人の協力を得て、690本の抵抗性クロマツの植栽を行いました。



3/18 (水) 大野地区

大野町小学校1年生が大野海岸に、抵抗性クロマツ60本を植栽しました。

少し心もとないシャベル使用でしたが、地元のからくり学会のご協力を得て、無事終了しました。



3/23 (月) 金石地区

金石町小学校、金石中学校児童生徒176人が今年開催される全国植樹祭の、地域リレー植樹として抵抗性クロマツ360本を植栽しました。植栽前に記念標柱の設置を行いました。



森づくりの話 ⑦

今回は鉈に続いて構造が似ている鎌について書いてみたいと思います。

今、現場では草刈り機が活躍していますが、鎌は一般の人が森づくり活動をする上で欠かせない道具です。

鎌一丁と砥石を持って行けば、大概の所はほかの道具と併せる事によって作業はできるし、草刈り機より安全でエコです。

持ち運びの関係もあり、一般的には柄の短い木鎌を使う事が多いのですが、特に急斜面だと長鎌が便利で、自分より離れた所の草も簡単に刈る事が出来ます。コツは草の根元に刃を持って行き、両手を使って手前に引くように切り、斜面に向かって下方右から始め左の方に刈って行くのが基本です。

頑丈な鎌の種類では細い灌木も処理する場合がありますが、基本的に鎌は引くようにして刈るものです。

片手で使う鎌は決して振り回さず、右手利きの人は体の左側に刃先が逃げるように刈る事がコツで、事故例として左足を切ってしまったという事が多いようです。

刈払機・チェーンソー 講習会のお知らせ

講習の種類	開催日	開催場所	締切日
刈払機取扱作業安全教育	4月16日(木)	石川森林文化ホール	4月10日(金)
伐木等業務(チェーンソー)特別教育 ※	6月3日(水)・4日(木)	石川森林文化ホール	5月21日(木)

刈払機やチェーンソーを安全に正しく使うための講習会が実施されています。

森づくり活動に大活躍の機械類で、講習を受けていれば仕事でも操作する事が出来るようになります。

登録会員の方には受講に対しての支援を行っていますので、希望される方はこの機会に是非受講下さい。

会場は石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪)で行います。

※お問合せ・お申込みをご希望の方はご連絡ください。

※受講希望の方に申込書等を郵送いたします。

編集後記

「椿」

花の少ない寒い時期に咲くツバキは、鳥たちのごちそうになり鳥が花粉を運んで受粉します。

一般に日本のツバキはヤブツバキとユキツバキに大別され、ヤブツバキは北海道を除く日本各地に自生しており、ユキツバキは名のごとく多雪地帯の内陸の方に自生しています。ついでに記するとユキツバキは新潟県の県木に指定されています。

見分け方は、ヤブツバキの雄しべは白く根元がくっついて筒状になっており、一方ユキツバキは黄色で根元まで分かれています。

実(み)から絞った椿油は、整髪油や食用油として今でも販売されており、ツバキの利用は縄文時代の遺跡からも出土しています

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

